

桜植樹式参加のためのドイツ・ヴリーツェン市訪問について

1 報告趣旨

本市の海外友好交流都市であるヴリーツェン市から、令和5年(2023年)6月3日(土)に開催する桜植樹式へ招待を受け、市長及び議会代表をはじめとする公式訪問団並びに市民訪問団が訪問したことについて報告する。

2 報告内容

(1) 訪問経緯

ヴリーツェン市との友好交流のきっかけとなった本市出身の医師・肥沼信次博士は、第二次世界大戦直後のドイツで伝染病患者の治療に尽力し、自らも感染し37歳の若さで亡くなった。生前にヴリーツェンの方たちに「日本の桜を見せたい」と語っていた。

本市の市民団体「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」が、博士の思いを叶えるため、桜を植樹するための募金を行い、この募金を基にヴリーツェン市内の“Dr. コエヌマ通り”沿いの広場に桜の苗木が植えられた。

この度、ヴリーツェン市のイルム市長から寄付への感謝とともに、桜植樹式へ招待いただいたことから、訪問団として市民の皆様とともに市長がヴリーツェン市を訪問した。

(2) 訪問団構成

ア 行政 市長、吉本議員(前議長)、多文化共生推進課長、庶務調査課長 ほか

イ 市民 「Dr. 肥沼の偉業を後世に伝える会」代表 塚本回子氏

八王子市観光PR特使 富永裕輔氏(シンガーソングライター) ほか33名

(3) 訪問日程

ア 渡航日程 令和5年(2023年)6月1日(木)～6月5日(月)2泊5日(機中2泊) ※市民訪問団は別日程

イ 在ドイツ日本大使館訪問(ベルリン)6月2日(金)14時 ※行政のみ

ウ ヴリーツェン市訪問 6月3日(土)

10時30分 市庁舎でお出迎え

11時 桜植樹式、銘板プレートの除幕式

11時30分 肥沼博士の墓前で追悼

12時～13時30分 昼食会

14時～ 富永裕輔氏による公演(肥沼博士の生涯を描く楽曲「Life is Waltz」をドイツ語で披露など)

※ヴリーツェン市の式典参加者 イルム市長、議会代表 ほか30名



▲銘板プレートの除幕式の様子
(左から吉本議員、石森市長、イルム市長)



▲肥沼博士の墓前の様子